



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月28日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2491 URL http://www.valuecommerce.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-4590-3600
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	12,233	26.3	1,145	0.4	1,271	2.4	788	10.6
26年12月期第3四半期	9,688	9.4	1,140	12.0	1,241	6.9	713	△4.9

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 784百万円 (2.3%) 26年12月期第3四半期 767百万円 (0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	23.75	23.71
26年12月期第3四半期	21.49	21.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	9,799	6,025	61.0	179.85
26年12月期	9,131	5,559	60.4	166.06

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 5,976百万円 26年12月期 5,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	6.00	11.00
27年12月期	—	4.00	—		
27年12月期（予想）				6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	18.9	1,520	0.3	1,590	△3.5	1,030	7.5	31.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	34,471,000株	26年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	1,243,400株	26年12月期	1,255,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	33,218,708株	26年12月期3Q	33,210,196株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成27年10月29日（木）にアナリスト及び機関投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、生産面で一部弱含みがみられるものの、企業収益の改善、雇用・所得環境の改善傾向、個人消費で底堅い動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続いています。一方、今夏から中国経済・同金融市場等が与える景気変調の影響により、俄かながらも我が国の経済に対する不透明感を増す方向になるかと懸念されます。このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,233,278千円（前年同四半期比26.3%増）、売上総利益は3,018,758千円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

売上高が増加した一方で、売上総利益が前年並みとなった主な要因は、前連結会計年度第2四半期以降、アフィリエイトマーケティングサービス事業において、サービス提供の実態に合わせ一部の契約をASPサービス（純額表示）からコンサルティングサービス（総額表示）へ変更し、売上高及び売上原価が契約変更前換算と比較しそれぞれ1,144,149千円増加したこと、並びに金融分野の市場占有率を高めるために利益率の低い案件を取り扱った影響によるものです。

営業利益は、平成27年3月31日付でGlossom株式会社よりアドネットワーク事業を譲り受け、スマートフォン向け広告配信サービス「AdLantis（アドランティス）」に係るのれん償却費30,492千円を計上したこと、新サービスに対する積極的な販売促進等を期初想定どおりに実施したことから、1,145,158千円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

経常利益は、営業外収益に持分法による投資利益80,132千円及び投資事業組合運用益33,960千円などを計上し、1,271,297千円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

四半期純利益は、特別損失にアフィリエイトマーケティングサービスのトラッキング設定に不具合が生じたことによりシステム障害対応費用51,133千円を計上したこと、法人税等に422,108千円を計上したことにより、788,935千円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、「その他の事業」を追加しております。当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①アフィリエイトマーケティングサービス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、金融分野をはじめ、旅行・ショッピング・美容・人材分野の広告出稿が堅調に推移し、セグメント売上高は、11,039,289千円（前年同四半期比25.7%増）となりました。

なお、契約変更による影響額1,144,149千円を除いたセグメント売上高は、9,895,140千円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

セグメント利益は、主に金融分野の一部顧客による運用効率向上への姿勢が厳しくなるなか、1,828,112千円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

②ストアマッチサービス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、Yahoo!ショッピングに出店するストア向けのサービスが堅調に推移したことにより、セグメント売上高は1,009,269千円（前年同四半期比14.2%増）、セグメント利益は137,270千円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

③その他の事業

新規事業を包括する報告セグメントで、スマートフォン向け広告配信サービス、メディアサービス、実店舗への送客を支援する020（オンライン・ツー・オフライン）サービスを含みます。

当第3四半期連結累計期間におきましては、スマートフォン向け広告配信サービスにおいて平成27年3月31日付でGlossom株式会社よりアドネットワーク事業を譲り受け、広告配信先であるメディアネットワークの拡大に向けた取り組みをおこないました。また、既存のメディアサービスが堅調に推移したことにより、セグメント売上高は206,451千円（前年同四半期比516.6%増）、セグメント損失は569,910千円（前年同四半期のセグメント損失は314,371千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は9,799,094千円となり、前連結会計年度末と比べて667,854千円増加いたしました。

流動資産は7,892,250千円となり、前連結会計年度末と比べて332,588千円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が34,522千円、未収入金が100,763千円減少したものの、受取手形及び売掛金が461,744千円増加したことによるものです。

固定資産は1,906,844千円となり、前連結会計年度末と比べて335,266千円増加いたしました。これは、主に事業譲受によりのれんが274,431千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,773,103千円となり、前連結会計年度末と比べて201,696千円増加いたしました。

流動負債は3,683,805千円となり、前連結会計年度末と比べて221,780千円増加いたしました。これは、主に買掛金が308,356千円増加したことによるものです。

固定負債は89,297千円となり、前連結会計年度末と比べて20,083千円減少いたしました。これは、主に長期預り保証金が18,850千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は6,025,991千円となり、前連結会計年度末と比べて466,158千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により332,177千円減少したものの、四半期純利益の計上により788,935千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,707,842千円となり、前連結会計年度末と比べて34,522千円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は673,596千円（前年同四半期は625,473千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,211,044千円であり、プラス要因として、仕入債務の増加額が308,356千円、減価償却費が114,639千円であったものの、マイナス要因として、売上債権の増加額が461,146千円、法人税等の支払額が429,331千円、持分法による投資利益が80,132千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は383,564千円（前年同四半期は429,906千円の使用）となりました。これは、主に事業譲受による支出が350,000千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は323,986千円（前年同四半期は378,425千円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が328,494千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年1月29日の「平成26年12月期 決算短信」で公表いたしました平成27年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,742,365	4,707,842
受取手形及び売掛金	1,939,454	2,401,198
繰延税金資産	29,537	23,765
未収入金	808,238	707,475
その他	40,698	52,879
貸倒引当金	△632	△910
流動資産合計	7,559,661	7,892,250
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	46,549	48,913
リース資産（純額）	3,389	2,246
有形固定資産合計	49,938	51,160
無形固定資産		
ソフトウェア	309,301	346,292
ソフトウェア仮勘定	66,644	26,550
のれん	—	274,431
その他	8,557	46,322
無形固定資産合計	384,503	693,596
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035,033	1,128,337
繰延税金資産	4,937	26,526
その他	97,992	7,453
貸倒引当金	△827	△230
投資その他の資産合計	1,137,136	1,162,087
固定資産合計	1,571,578	1,906,844
資産合計	9,131,240	9,799,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,757,267	2,065,624
未払金	1,250,966	1,229,716
未払法人税等	224,000	224,343
その他	229,791	164,121
流動負債合計	3,462,025	3,683,805
固定負債		
長期預り保証金	105,618	86,768
その他	3,762	2,529
固定負債合計	109,381	89,297
負債合計	3,571,407	3,773,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,083,798	1,088,007
利益剰余金	2,881,706	3,339,951
自己株式	△201,845	△199,852
株主資本合計	5,491,926	5,956,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,054	20,215
為替換算調整勘定	△155	△573
その他の包括利益累計額合計	23,898	19,642
新株予約権	44,007	49,975
純資産合計	5,559,832	6,025,991
負債純資産合計	9,131,240	9,799,094

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,688,183	12,233,278
売上原価	6,713,951	9,214,519
売上総利益	2,974,232	3,018,758
販売費及び一般管理費	1,833,950	1,873,600
営業利益	1,140,281	1,145,158
営業外収益		
持分法による投資利益	101,802	80,132
投資事業組合運用益	—	33,960
その他	4,698	12,824
営業外収益合計	106,500	126,917
営業外費用		
投資事業組合運用損	4,689	—
その他	653	778
営業外費用合計	5,343	778
経常利益	1,241,439	1,271,297
特別損失		
システム障害対応費用	—	51,133
本社移転費用	105,732	—
その他	5,976	9,119
特別損失合計	111,709	60,253
税金等調整前四半期純利益	1,129,730	1,211,044
法人税、住民税及び事業税	369,788	434,231
法人税等調整額	46,320	△12,123
法人税等合計	416,109	422,108
少数株主損益調整前四半期純利益	713,620	788,935
四半期純利益	713,620	788,935
少数株主損益調整前四半期純利益	713,620	788,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,299	△3,838
為替換算調整勘定	193	△417
その他の包括利益合計	53,492	△4,255
四半期包括利益	767,113	784,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	767,113	784,679
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,129,730	1,211,044
減価償却費	91,947	114,639
のれん償却額	—	30,492
株式報酬費用	17,179	7,589
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,208	△318
受取利息	△794	△809
支払利息	148	98
為替差損益(△は益)	△281	150
持分法による投資損益(△は益)	△101,802	△80,132
投資事業組合運用損益(△は益)	4,689	△33,960
本社移転費用	105,732	—
システム障害対応費用	—	51,133
売上債権の増減額(△は増加)	△280,646	△461,146
仕入債務の増減額(△は減少)	428,392	308,356
未収入金の増減額(△は増加)	227,599	100,763
未払金の増減額(△は減少)	△414,002	△74,924
預り金の増減額(△は減少)	△2,527	△12,048
預り保証金の増減額(△は減少)	△19,897	△18,850
その他	37,238	△38,104
小計	1,221,497	1,103,972
利息及び配当金の受取額	34,444	28,861
利息の支払額	△148	△98
本社移転費用の支払額	△10,791	△29,808
法人税等の支払額	△619,528	△429,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	625,473	673,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,680	△19,074
無形固定資産の取得による支出	△108,493	△93,350
投資有価証券の取得による支出	△327,414	△91,648
投資事業組合からの分配による収入	33,682	76,853
差入保証金の回収による収入	—	93,774
事業譲受による支出	—	△350,000
その他	—	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△429,906	△383,564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	2,050	5,741
配当金の支払額	△379,292	△328,494
その他	△1,182	△1,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,425	△323,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	474	△567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△182,384	△34,522
現金及び現金同等物の期首残高	4,541,810	4,742,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,359,426	4,707,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	アフィリエ イトマーケ ティングサ ービス事業	ストアマッ チサービス 事業	その他の事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	8,782,445	883,597	22,141	9,688,183	—	9,688,183
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	11,340	11,340	△11,340	—
計	8,782,445	883,597	33,481	9,699,524	△11,340	9,688,183
セグメント利益又 は損失(△)	1,722,109	121,927	△314,371	1,529,665	△389,383	1,140,281

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△11,340千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△389,383千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社は、平成26年6月26日開催の取締役会において本社移転を決議したことに伴い、建物附属設備に係る減損損失を34,232千円計上しております。なお、当該減損損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書において、特別損失の本社移転費用に含めて表示しております。

また、当該減損損失は、各報告セグメントに配分されておられません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	アフィリエイト マーケティングサ ービス事業	ストアマッ チサービス 事業	その他の事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	11,039,289	1,009,269	184,719	12,233,278	—	12,233,278
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	21,732	21,732	△21,732	—
計	11,039,289	1,009,269	206,451	12,255,010	△21,732	12,233,278
セグメント利益又 は損失(△)	1,828,112	137,270	△569,910	1,395,472	△250,314	1,145,158

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△21,732千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,314千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他の事業」セグメントにおいて、平成27年3月31日付でGlossom株式会社よりアドネットワーク事業を譲り受け、スマートフォン向け広告配信サービス「AdLantis(アドランティス)」に係るのれんを計上しております。

なお、当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、274,431千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成27年1月1日付で、スマートフォン向け広告配信サービスの収益化を推進するため「アドネットワーク本部」、メディアサービスの収益化を推進するため「メディア開発本部」を設置いたしました。また、「事業開発本部」は、実店舗への送客を支援する020(オンライン・ツー・オフライン)サービスの収益化の推進及び新規事業の開拓に従事しております。

これは、主軸の「アフィリエイトマーケティングサービス事業」及び「ストアマッチサービス事業」に加え、各事業における戦略立案機能の強化及び経営判断の迅速化を通じ、激しく変化する事業環境のなかで経営資源の最適配分と機動的な事業運営を目指し、各事業の成長を加速させるべく行ったものです。

以上により、従来、提供するサービスの特性から、「アフィリエイトマーケティングサービス事業」及び「ストアマッチサービス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「アフィリエイトマーケティングサービス事業」、「ストアマッチサービス事業」及び「その他の事業」の3つを報告セグメントとして記載する方法に変更しております。「その他の事業」は、新規事業を包括する報告セグメントとなります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。